

たけた あそ
中九州横断道路(竹田～阿蘇)

第2回 説明資料

平成30年 3月13日

国土交通省 九州地方整備局

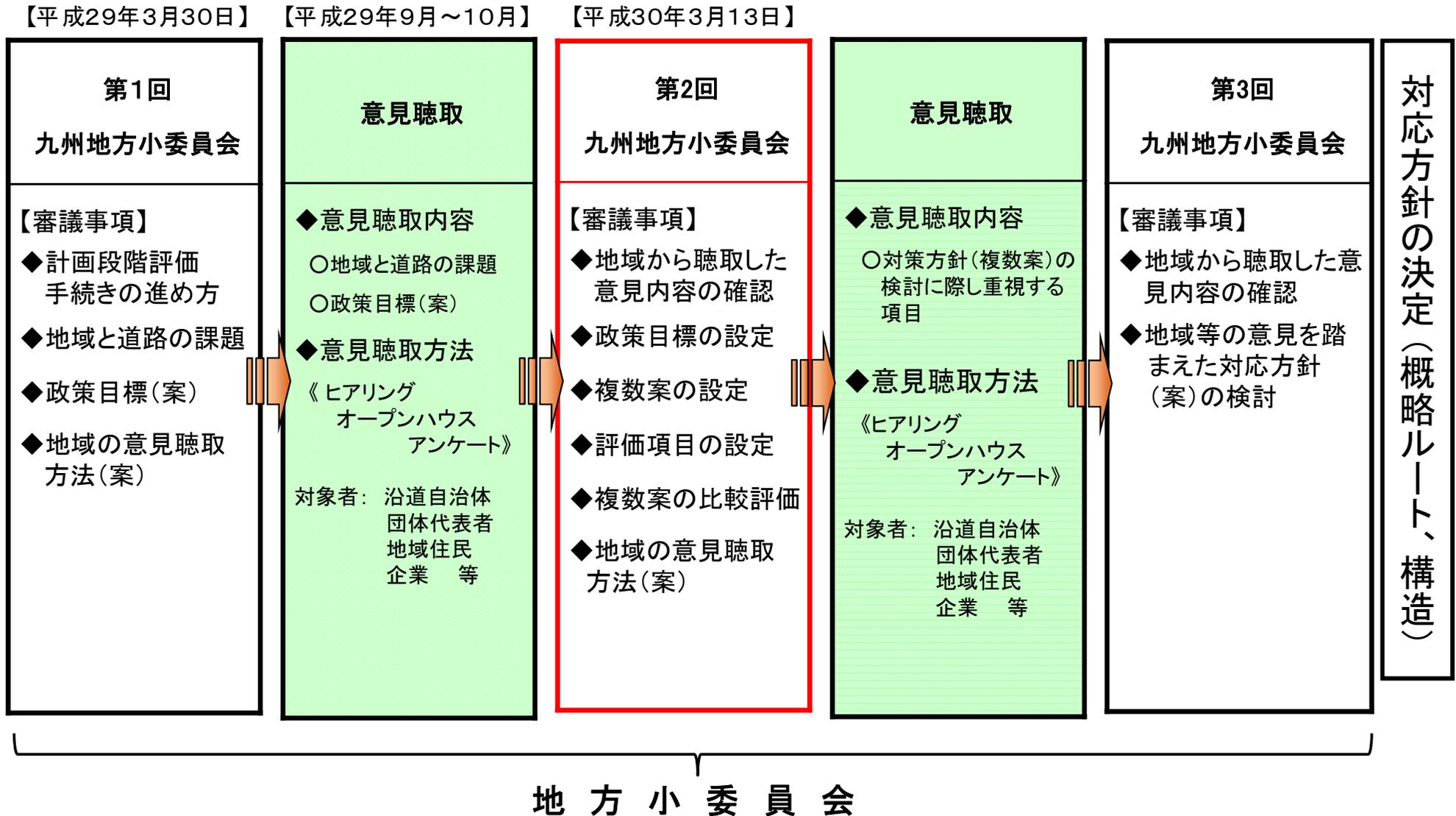
本日、ご審議頂く内容

1. 前回までの審議内容	・ ・ ・	1
2. 第1回意見聴取の概要	・ ・ ・	6
3. 第1回意見聴取の結果	・ ・ ・	13
4. 複数案の設定	・ ・ ・	18
5. 第2回意見聴取方法（案）	・ ・ ・	24



1. 前回までの審議内容

1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



1-4. 政策目標の設定

地域の現状と課題	道路による要因	政策目標
<p>①防災</p> <p>○国道57号は、熊本県と大分県の広域防災拠点を結ぶ重要な緊急輸送道路であり、最優先の啓開ルート。</p> <p>●熊本地震や九州北部豪雨時には国道57号の通行止めが発生し、救助・救急活動に支障が生じており、被災時の啓開ルートの確保が課題。</p>	<p>○災害時において通行止めとなるなど災害に弱い。</p> <p>○九州北部豪雨時では竹田市内のすべての緊急輸送道路が寸断。</p>	<p>①災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築</p>
<p>②産業・物流</p> <p>○国道57号は大分～竹田・阿蘇～熊本間のトマト、ガソリン、半導体など産業活動に重要な物流路線。</p> <p>●通行止めによる迂回輸送や急カーブ等により低下する信頼性・走行性の確保が課題。</p>	<p>○通行止めや急カーブ等により信頼性・走行性が低下。</p> <p>○現道が被災した場合、代替路がなく、大幅な迂回を強いられる。</p>	<p>②信頼性・走行性の確保による産業の活性化支援</p>
<p>③観光</p> <p>○国道57号沿線地域は、阿蘇くじゅう観光圏整備計画の認定を受けるなど、観光ポテンシャルが高い。</p> <p>●熊本・大分県への観光客は、移動時間が長いため自県以外に立ち寄らない割合が高く、観光地間の周遊性向上が課題。</p>	<p>○大分～阿蘇～竹田～熊本間の高速ネットワークが不十分。</p>	<p>③高速ネットワーク確保による観光の振興を支援</p>
<p>④医療</p> <p>○救急搬送人数が年々増加傾向。</p> <p>●大分・熊本市内の第三次救急医療施設まで60分以上を要し、速達性の確保が課題。</p>	<p>○竹田・阿蘇地域から第三次救急医療施設への速達性に劣る。</p>	<p>④速達性向上による救急医療の支援</p>
<p>⑤暮らし</p> <p>○買い物など日常生活において、大分市、熊本市等に依存している。</p> <p>●しかし、買い物や交通の便など生活の利便性が悪く、速達性の確保が課題。</p> <p>●市街地部は死傷事故率が高く追突事故が多い。山間部は死亡・重大事故に直結しやすい「車両単独」事故が発生し、安全性の確保が課題。</p>	<p>○大分市、熊本市、菊陽町への速達性が低く移動が不便。</p> <p>○市街地部では渋滞に起因する追突事故、山間部では急カーブ・急勾配区間で安全性が低く、車両単独事故が発生。</p>	<p>⑤速達性・安全性の確保による生活利便性の向上</p>



2. 第1回意見聴取の概要

2-1. 第1回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

■意見聴取期間

平成29年 9月15日（金）～平成29年 10月31日（火）

■意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況		
自治体	ヒアリング	平成29年9月15日（金） ～10月31日（火）	<small>おおいた くまもと たけた あそ うぶやまむら おおいた</small> 大分県，熊本県，竹田市，阿蘇市，産山村，大分市， <small>ぶんごおおの おおづまち こうし くまもと みなみあそむら たかもりまち</small> 豊後大野市，大津町，合志市，熊本市，南阿蘇村，高森町※， <small>にしはらむら おぐにまち みなみおぐにまち やまとちょう たかちほちょう ゆふ</small> 西原村，小国町，南小国町，山都町，高千穂町，由布市， <small>ここのえまち</small> 九重町	18自治体	※ 1自治体未回収	
団体等			トラック協会、タクシー協会、バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、警察署、観光協会、商工会議所、医療機関、医師会など	26団体		全136票
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	110社		
地域住民	アンケート	平成29年9月15日（金） ～10月31日（火）	竹田市（約3,200戸） 阿蘇市（約3,700戸） 産山村（約300戸） } 合計（約7,200戸）	3,906票	全4,361票	
	オープンハウス	【平日】：2日 平成29年10月24日（火） 平成29年10月25日（水）	6箇所（竹田市2箇所、阿蘇市2箇所、産山村2箇所）	441票		
広域的な道路利用者	留置き	【休日】：1日 平成29年10月29日（日）	道の駅（竹田、すごう、波野、阿蘇）	14票		

【設問事項】

○国道57号（竹田～阿蘇間）の課題に対する意見を伺う

 着色箇所は第1回委員会の意見等を踏まえ追加した自治体等

 着色箇所は他事業の実績を踏まえ追加

2-2. 第1回意見聴取の実施状況 ~ヒアリング~

■ ヒアリング実施状況



【団体（消防）：阿蘇市】



【製造業：竹田市】



【団体（商工会議所）：産山村】



【運輸業：大分市】

■ 対 象

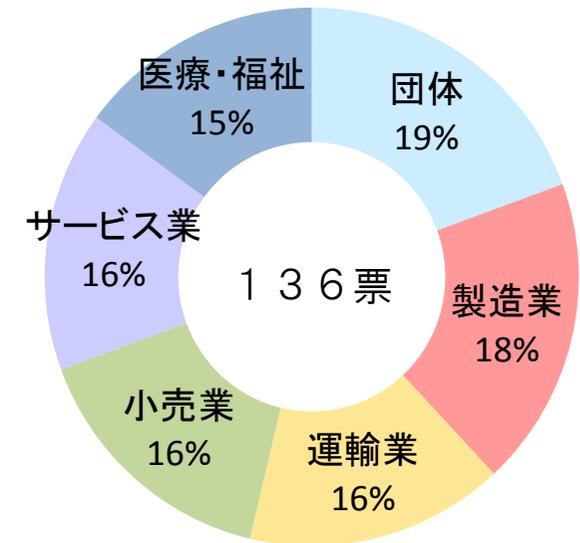
自治体：（18自治体）

団 体：（26団体）

企 業：（110社）

全 136票

■ ヒアリング実施団体・企業の内訳



2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

■住民アンケート実施内容

【回答は返信はがきに記入してください】

下記を参考に、同封のはがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

- ・単一回答の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。
- ・自由回答の設問は、具体的な内容を記載してください。
- ・5段階評価の設問は、各課題の該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください。

問1 国道57号(竹田～阿蘇)の利用頻度について

普段、国道57号(竹田～阿蘇)をどの程度利用していますか？(単一回答)

1	ほぼ毎日(週4～7回)
2	週に数回程度(週2～3回)
3	月に数回程度(週1回未満)
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

問2 国道57号(竹田～阿蘇)の移動手段について

国道57号(竹田～阿蘇)を通行する際の、主な移動手段は何ですか？(単一回答)

1	自動車
2	公共交通(バス、タクシー)
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 国道57号(竹田～阿蘇)の利用目的について

国道57号(竹田～阿蘇)を通行する際の、主な利用目的は何ですか？(単一回答)

1	通勤・通学
2	仕事(営業・商談・運送など)
3	私用(買物・食事・通院など)
4	観光
5	その他「具体的な内容を記入してください」

問4-1 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について

国道57号(竹田～阿蘇)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に**1つだけ**○をつけて下さい。(5段階評価)
【1～5の課題それぞれ該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください】

分類	番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わ ない	そう 思わな い	わか らな い
		(記入例)		○			
防災	1	災害時に通行止め等が発生しやすい					
産業・物流	2	急カーブや交通規制等により輸送に時間がかかる					
観光	3	大分市・熊本市から竹田市・阿蘇市の観光地への移動に時間がかかる					
医療	4	救急医療施設への搬送に時間がかかる					
暮らし	5-1	大分市・熊本市などへの移動が不便					
	5-2	交通事故が発生しやすい					

問4-2 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について(理由)

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
1	
2	
3	
4	
5-1	
5-2	

問4-3 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について(その他課題)

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的ににお書きください。(自由回答)

問5 その他

その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)

あなたご自身の事について教えてください

住所 ①竹田市 ②阿蘇市 ③産山村
④その他()

性別 ①男性 ②女性

年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

ご協力ありがとうございました。

■【拡大】問4-1 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について

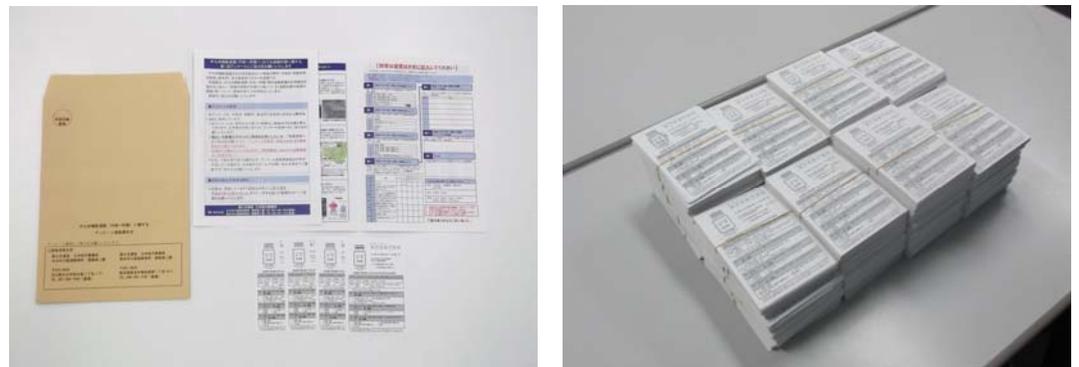
問4-1 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について

国道57号(竹田～阿蘇)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に**1つだけ**○をつけて下さい。(5段階評価)

【1～5の課題それぞれ該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください】

分類	番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わ ない	そう 思わな い	わか らな い
		(記入例)		○			
防災	1	災害時に通行止め等が発生しやすい					
産業・物流	2	急カーブや交通規制等により輸送に時間がかかる					
観光	3	大分市・熊本市から竹田市・阿蘇市の観光地への移動に時間がかかる					
医療	4	救急医療施設への搬送に時間がかかる					
暮らし	5-1	大分市・熊本市などへの移動が不便					
	5-2	交通事故が発生しやすい					

■住民アンケート調査票・回収状況



対象：地域住民
配布：竹田市約3,200戸、阿蘇市約3,700戸、産山村約300戸
意見聴取数：3,906票

2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

■オープンハウス実施状況

<平日>

対 象：地域住民
会 場：竹田市2箇所、阿蘇市2箇所、産山村2箇所
意見聴取数：441票



【平成29年10月25日（水） 竹田市 竹田市役所】



【平成29年10月24日（火） 阿蘇市 阿蘇市役所】



【平成29年10月25日（水） 産山村 産山村役場】

<休日>



【平成29年10月29日（日） 竹田市
フレイン竹田店】



【平成29年10月29日（日） 阿蘇市
道の駅「波野」】



【平成29年10月29日（日） 産山村
うぶやま牧場】

2-3. 第1回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

■ アンケート回収ボックスの設置

<留置き>



道の駅竹田



道の駅阿蘇



道の駅すごう



道の駅波野

<ポスター>

中九州横断道路【竹田～阿蘇】
道路計画に関するご意見をお聞かせください！

「道路交通や地域の課題」等について、皆様のご意見をお聞かせ下さい。アンケート用紙にご記入後、回収BOXに投函をお願いいたします。

アンケート用紙 投函 → アンケート回収BOX

お問い合わせ
国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所 調査第二課 TEL:097-544-4167
熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL:096-382-1111

対 象：広域的な道路利用者
設置箇所：道の駅4箇所
意見聴取数：14票

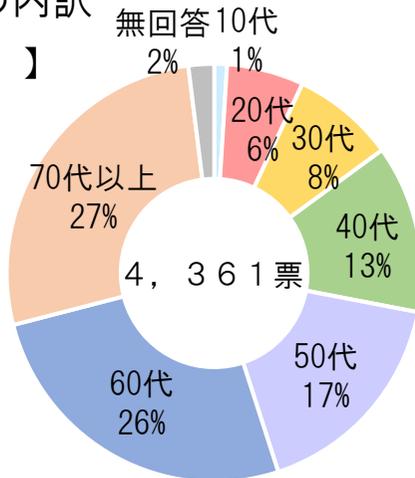
中九州横断道路【竹田～阿蘇】対象区間位置図

調査箇所
● 道の駅竹田
● 道の駅阿蘇
● 道の駅すごう
● 道の駅波野

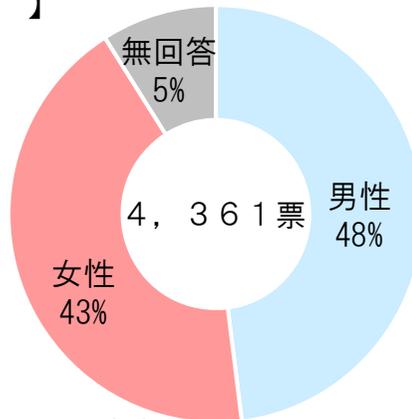
第1回	第2回	第3回	対応方針の決定
地域の現状、自然体、生活等への意見聴取 ● 対象地域の現状 ● 生活等への意見聴取 ● 地域の課題の整理 ● 調査目的の整理 ● 地域の意見聴取方法(案)	地域の現状、自然体、生活等への意見聴取 ● 地域から聴取した意見の整理 ● 調査目的の整理 ● 調査の必要性 ● 調査項目 ● 調査の比較評価 ● 地域の意見聴取方法(案)	地域の現状、自然体、生活等への意見聴取 ● 地域から聴取した意見の整理 ● 調査目的の整理 ● 調査の必要性 ● 調査項目 ● 調査の比較評価 ● 地域の意見聴取方法(案)	● 地域から聴取した意見の整理 ● 調査目的の整理 ● 調査の必要性 ● 調査項目 ● 調査の比較評価 ● 地域の意見聴取方法(案)

■ 回答者の内訳

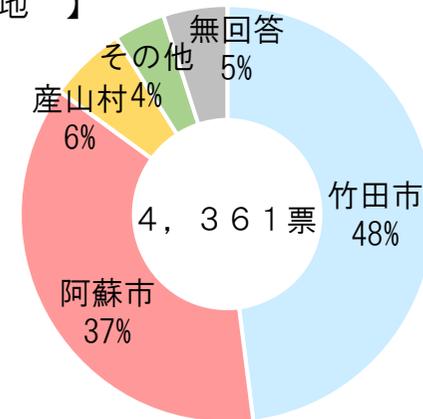
【年代】



【性別】



【居住地】



2-4. 第1回意見聴取の実施状況 ~広報~

- ①ホームページ : 国土交通省大分河川国道事務所および熊本河川国道事務所ホームページに意見聴取のページ(記者発表)を開設
- ②広報ポスター・チラシ : 市役所、村役場、道の駅にポスターを掲示。
広報チラシを全世帯に配布(大分県:竹田市、熊本県:阿蘇市、産山村)
- ③地域への情報提供 : ケーブルテレビのデータ放送に情報掲載(竹田市)

①ホームページ (H29.9.14、H29.9.27 記者発表)

国土交通省 九州地方整備局
大分河川国道事務所
おいたの川と道に関する最新情報を発信するサイトです。
あなたは684672人のお客様です。

メニュー
▶ 事業概要
▶ 川の情報
▶ 道の情報
▶ 交流ひろば
▶ お役立ちリンク
▶ ご意見・ご要望

道路ライブ映像
道路ライブ映像
大分河川国道事務所管理の国道(10号、210号)に設置されているCCTVカメラのライブ映像を提供します。

河川ライブ映像
河川ライブ映像
大分河川国道事務所管理の一级河川(大分川、大野川)に設置されているCCTVカメラのライブ映像を提供します。

記者発表資料
中九州横断道路(竹田~阿蘇)の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください
~オープンハウスの実施について~

【オープンハウス】
(大分県)
竹田市 平成29年10月25日(水) 竹田市役所
(熊本県)
阿蘇市 平成29年10月29日(日) フレイン竹田
産山村 平成29年10月29日(日) うぶやま牧場
道の駅「波野」 平成29年10月29日(日) 道の駅「波野」

②広報ポスター・チラシ

中九州横断道路【竹田~阿蘇】
道路計画に関するご意見をお聞かせください!
中九州横断道路(竹田~阿蘇)に関し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、下記の日時、場所において、パネルの展示と合わせ、スタッフが説明を行います。「道路交通や地域の課題」等について、皆様のご意見をお聞かせ下さい。
開催日時 毎日 9:00~16:00 毎日 10:00~16:00

竹田市	阿蘇市	産山村
10月25日 竹田市役所	10月24日 阿蘇市役所	10月25日 産山村役場
10月29日 フレイン竹田	10月29日 道の駅「波野」	10月29日 うぶやま牧場

オープンハウス会場アクセスMAP

竹田市役所
【住所】大分県竹田市会々1650

フレイン竹田
【住所】大分県竹田市大字拝田原745

阿蘇市役所
【住所】熊本県阿蘇市一の宮町宮地504-1

産山村役場
【住所】熊本県阿蘇郡産山村山鹿480-3

道の駅波野
【住所】熊本県阿蘇市波野大字小地野1602

うぶやま牧場
【住所】熊本県阿蘇郡産山村山鹿2100-3

③地域への情報提供

行政情報
中九州横断道路 オープンハウス
【日 時】 10月28日(日)
午前10時~午後4時
【場 所】 フレイン竹田
【内 容】 中九州横断道路(竹田~阿蘇)の道路整備に関するパネル展示、スタッフによる説明
※オープンハウス開催日は「道の駅 波野」でもアンケートを実施 ※台風などで天気が荒れる場合は延期
平成29年度 敬老会編
↑ ↓で項目を選択。← →でページ切替え。
↑ ↓で項目を選択。← →でページ切替え。

行政情報
中九州横断道路 オープンハウス
開催日前日の午後5時までに、大分河川国道事務所ホームページでお知らせします。ホームページで確認できない場合は、お問合せください。
【問合せ】
国土交通省 九州地方整備局
大分河川国道事務所 調査第二課
097-546-1484
097-546-1484



3. 第1回意見聴取の結果

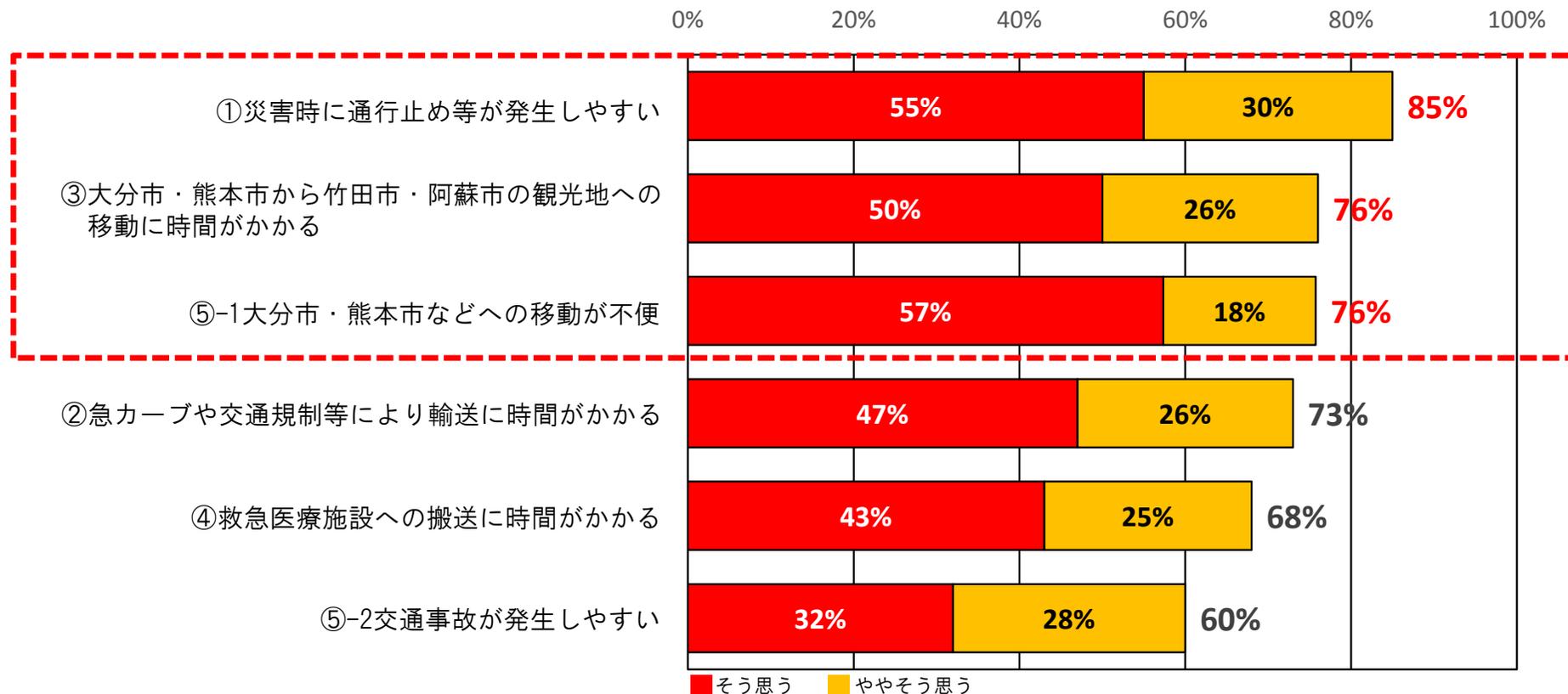
3-1. 第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題>

■ 団体・企業（ヒアリング）

■ 「①災害時に通行止めが発生しやすい」「③大分市・熊本市から竹田市・阿蘇市の観光地への移動に時間がかかる」「⑤-1大分市・熊本市などへの移動が不便」について約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【質問】 国道57号（竹田～阿蘇）について、5分類6つの課題を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）のそれぞれ該当する箇所の一つだけ○を付けて下さい。

【団体・企業（ヒアリング） 136票】



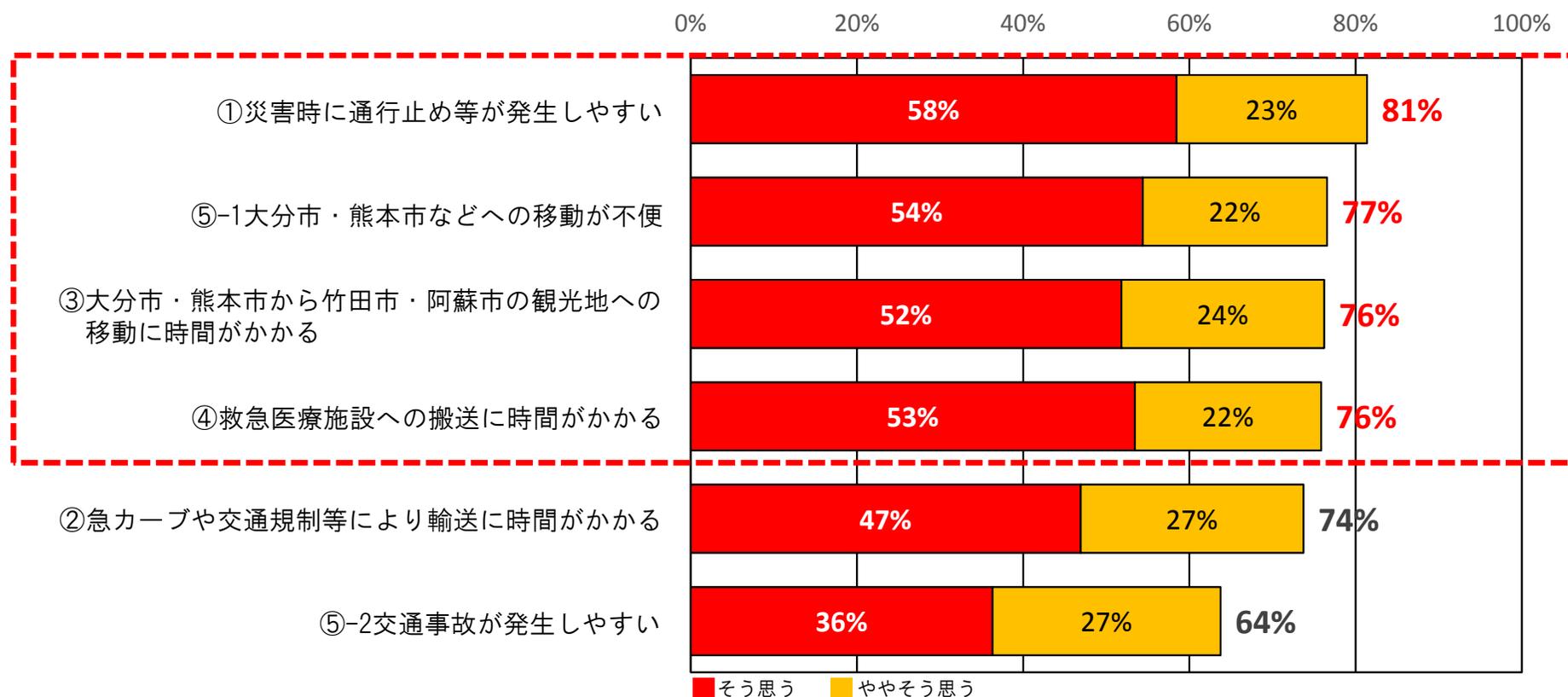
3-2. 第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題>

■ 地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）

■ 「①災害時に通行止めが発生しやすい」「⑤-1大分市・熊本市などへの移動が不便」
 「③大分市・熊本市から竹田市・阿蘇市の観光地への移動に時間がかかる」「④救急医療施設への搬送に時間がかかる」について約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

【質問】 国道57号（竹田～阿蘇）について、5分類6つの課題を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）のそれぞれ該当する箇所の一つだけ○を付けて下さい。

【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き） 4,361票】



3-3. 第1回意見聴取の結果 その他の課題に対する意見

■ その他課題・自由意見

- その他課題については「冬期の積雪・凍結」や「登坂車線が少ない」等の意見が寄せられた。
- 自由意見については早期整備を望む意見が多数寄せられる中、その一方で少数ではあるが整備の必要性が低い等の意見も寄せられた。

【質問】 国道57号（竹田～阿蘇）の課題について5分類6つの課題以外にあなたが課題だとおもうことがあれば具体的にお書きください。（意見数1,002件）

- 冬場の積雪、凍結に危険を感じる。 (阿蘇市)
- 幹線道路であり大型車の交通量が大変多いため、渋滞がおきやすい。 (竹田市)
- 幹線道路が1本しかなく、とても不便に思う。 (産山村)
- 登坂車線が少なすぎる。 (阿蘇市)

【質問】 その他ご意見がありましたらお聞かせください。（意見数1,023件）

- 大分県は港湾が発達しているため、高規格道路を整備して物流を強化すれば、西日本活性化に繋がる。早期整備を望む。 (熊本市)
- 中九州横断道路（竹田～阿蘇）に追越車線があると良い。大型車・大型特殊車が遅く感じる。 (阿蘇市)
- 高低差、カーブの少ない最短距離の道路ができればと思います。 (産山村)
- 竹田インターまでで良い。あとは国道57号線があり、道路もまっすぐのため必要ない。 (竹田市)

3-4. 第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果

■自治体

■自治体からは、「国道57号の定時性の低さ」「観光地間の周遊性の悪さ」「大分市・熊本市への速達性の低さ」「積雪の影響による安全性の低さ」等、多くの課題が寄せられた。

(自治体からの主な意見)

大分県	・ 陸路と海路が結束する大分県は、 <u>人・物が集積する拠点としてのポテンシャル</u> が高まっていますが、船便を安定的に活用する上で国道57号は <u>定時性等の低さ</u> が課題。
熊本県	・ 国道57号沿線には、 <u>全国レベルで人気のある観光資源が集積</u> していますが、観光地間の移動時間が長く、 <u>周遊性の悪さ</u> が課題。
竹田市	・ 大分市内の <u>救急病院まで60分以上を要する</u> 地域が存在することが課題。
阿蘇市	・ 国道57号は、 <u>冬季の積雪による影響</u> でスリップや追突事故が発生しており、 <u>安全性の低さ</u> が課題。
産山村	・ 産山村から買物に出かける場合、熊本市・菊陽町や大分市が主な行先ですが、 <u>移動時間が60分以上を要する</u> ことが課題。
その他自治体(観光課)	・ 国道57号は、 <u>災害による通行止めが多く</u> 、観光産業への影響が大きい。(大分市)

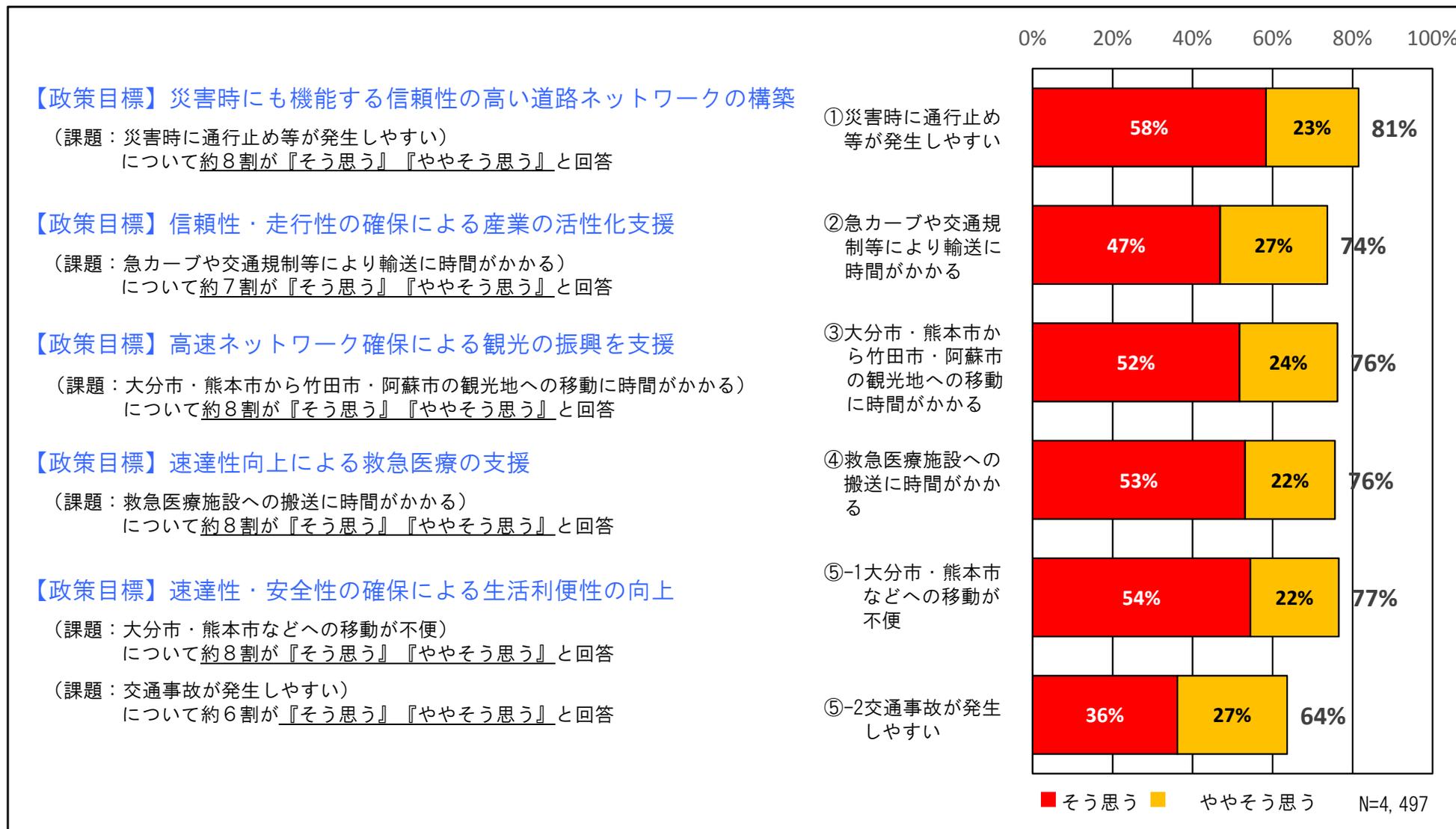


4. 複数案の設定

4-1. 政策目標の設定<政策目標の検証>

■意見聴取結果による政策目標の検証

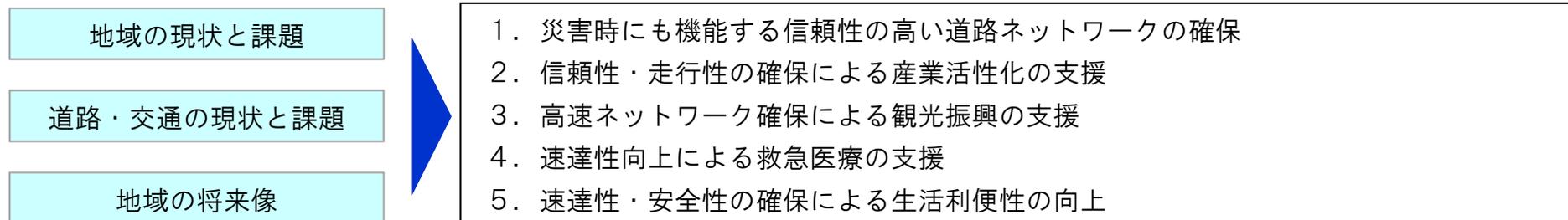
- 地域の課題に対して全ての項目で6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答があり、設定した政策目標は妥当と判断。
- 以上より、5つの政策目標を効率的かつ効果的に実現するために道路整備を実施。



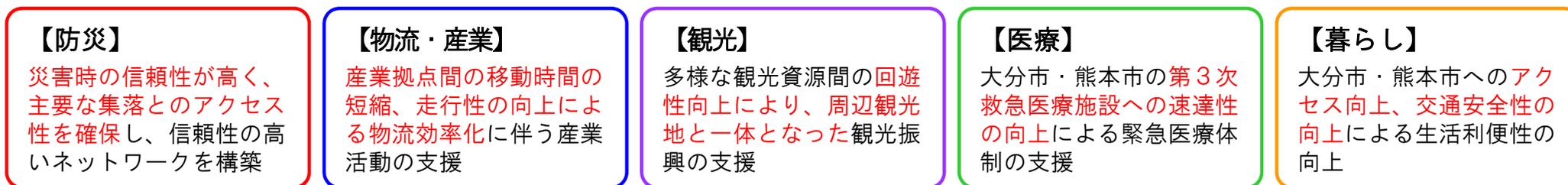
4-2. 政策目標の設定<対策案の検討>

■政策目標の設定

■地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定しこれらの目標を達成するための対策案を検討。



■対策案の検討



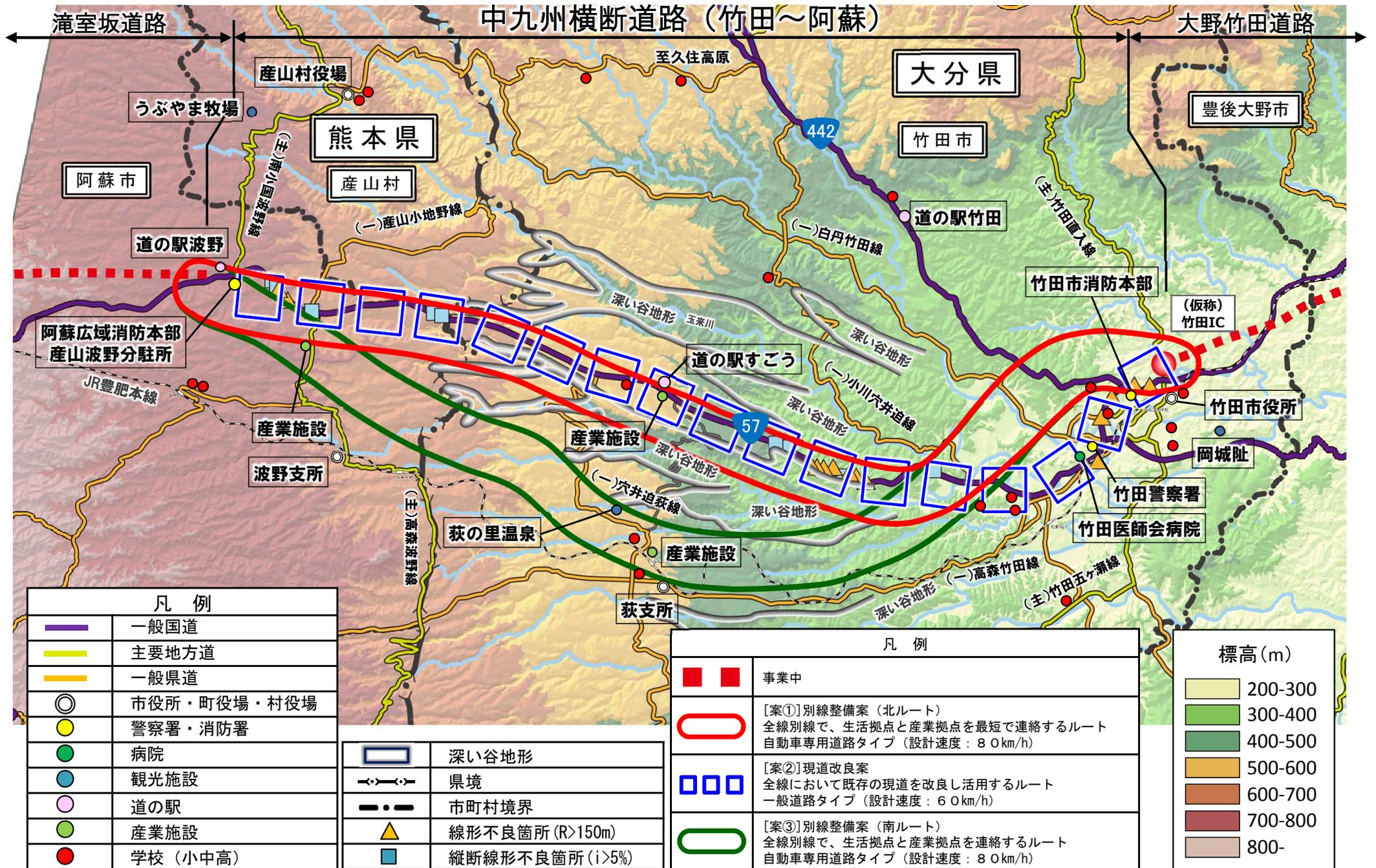
○対策案を検討する上でのその他の配慮事項



基本コンセプト：災害時における地域とのアクセス性を確保するとともに、大分市・熊本市への速達性・走行性の向上を図り、産業の活性化や観光の振興、救急医療の支援や生活利便性の向上を目指す。

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

4-4. 複数案の設定<ルート帯案の概要>



4-5. 複数案の設定<ルート帯案の比較評価>

評価項目		【案①】別線整備案(北ルート)	【案②】現道改良案	【案③】別線整備案(南ルート)	
項目	評価指標	全線別線で、生活拠点と産業拠点を最短で連絡するルート	全線において既存の現道を改良し活用するルート	全線別線で、生活拠点と産業拠点を連絡するルート	
		延長 約20km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約21km 一般道路タイプ(設計速度:60km/h)	延長 約22km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	
政策目標	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害時の代替路機能	・別線整備により代替路が確保されるが、国道57号との並行区間は近接しており、代替路が確保されない可能性がある	・現道利用のため代替路が確保されない	・別線整備により代替路が確保される
	信頼性・走行性の確保による産業活性化の支援	産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの移動時間	・産業拠点間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案③より小さい	・産業拠点間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案③より小さい	・産業拠点間の移動時間の短縮が見込まれる
		産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの走行性	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため効果は案①、案③より小さい	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる
	高速ネットワーク確保による観光振興の支援	観光地間の移動時間 阿蘇市～竹田・大分方面、 竹田市～阿蘇・熊本方面	・観光地間の移動時間の短縮が見込まれる	・観光地間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案①より小さい	・観光地間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案①より小さい
	速達性向上による救急医療の支援	大分市・熊本市の第3次医療施設への60分圏域人口	・救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大する
	速達性・安全性の確保による生活利便性の向上	生活拠点から大分市・熊本市の市街地への60分圏域人口	・市街地へのアクセス時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・市街地へのアクセス時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・市街地へのアクセス時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大する
交通事故発生リスク		・沿道出入箇所や交差点がないため、事故の発生リスクが減少する	・沿道出入箇所や交差点が減少するものの、事故の発生リスクの減少は案①、案③より少ない	・沿道出入箇所や交差点がないため、事故の発生リスクが減少する	
道路整備による影響	生活環境	大気質・騒音等	・集落・市街地を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい	・集落・市街地に近接・通過するため、生活環境に影響を与える可能性が大きい	・集落・市街地を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい
	自然環境	動物の生息地や植物の生育地等	・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい
	家屋への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落・市街地を概ね回避するため、影響は小さい	・集落・市街地に近接・通過するため、案①、案③より影響が大きい	・集落・市街地を概ね回避するが、影響は案①より大きい
	沿道利用	沿道施設からの利用	・沿道からの利用は、インターチェンジに限定される	・一般道路のため沿道からアクセス可能	・沿道からの利用は、インターチェンジに限定される
	早期効果の発現	発現の時期	・インターチェンジ間の部分開通は可能	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込める	・インターチェンジ間の部分開通は可能
	コスト	整備に要する費用	約700～750億円	約550～600億円	約650～700億円



5. 第2回意見聴取方法(案)

5-1. 第2回意見聴取(案)の概要

■意見聴取の項目と活用方針

■第2回意見聴取は、地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して評価指標等を用いて意見を伺い、ルート帯やインターチェンジの接続位置等、対応方針(案)の検討の参考とする。

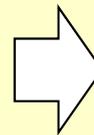
○アンケートの設問の設定(一部抜粋)

<政策目標>

【防災】

災害時の信頼性が高く、主要な集落とのアクセス性を確保し、信頼性の高いネットワークを構築

評価指標：災害時の代替機能



アンケートにおける質問事項

<比較ルート帯案(複数案)に対する意見>

問：災害時に代替路として利用できること

<接続位置に対する意見>

問：災害時に安全かつ円滑に集落にアクセスすること

【物流・産業】

産業拠点間の移動時間の短縮、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の支援

評価指標：産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの移動時間
産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの走行性



<比較ルート帯案(複数案)に対する意見>

問：産業拠点間の移動が円滑で時間が短いこと

問：産業拠点間の走行性がよいこと

<接続位置に対する意見>

問：産業拠点に隣接し、産業拠点間の移動時間が短いこと

<配慮事項>

【生活環境・自然環境と調和】

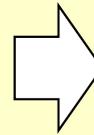


アンケートにおける質問事項

問：生活環境(騒音など)への影響が小さいこと

問：自然環境(動植物など)への影響が小さいこと

【家屋への影響】



問：家屋移転が少ないこと

5-2. 第2回意見聴取方法について

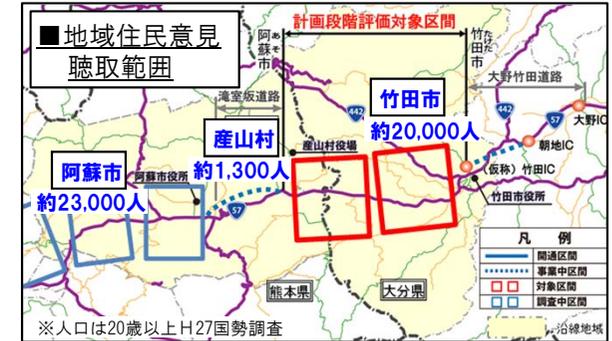
■意見聴取の方法

■意見聴取は第1回意見聴取と同様に、沿線自治体・団体および企業へのヒアリング、オープンハウス、沿線住民アンケート、留置きを実施予定。

※1 ヒアリングは、当該道路の特性により、広域的な観点においても意見聴取を実施することとし、沿線自治体および団体や企業等へ対面方式で意見聴取。

※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は市報などで広報。

※3 アンケートは、対象者を地域住民から無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取。
(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)



対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体および団体】大分県・熊本県・関係市町村・団体などへの意見聴取	
	沿線自治体:大分県、熊本県、竹田市、阿蘇市、産山村、大分市、豊後大野市、大津町、合志市、熊本市、南阿蘇村、高森町、西原村、小国町、南小国町、山都町、高千穂町、由布市、九重町	19自治体
	各団体等:トラック協会、タクシー協会、バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、警察署、観光協会、商工会議所、医療機関、医師会など	26団体
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【企業等】大分県・熊本県・福岡県等の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	主要100社程度
アンケート ※3	【地域住民】沿線の竹田市、阿蘇市、産山村の市役所等にオープンハウスを設置	
	竹田市:竹田市役所等、阿蘇市:阿蘇市役所等、産山村:産山村役場等	6箇所
	【地域住民】沿線の竹田市、阿蘇市、産山村の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
留置き	竹田市 (約20,000人)	約3,200部(抽出)
	阿蘇市 (約23,000人)	約3,700部(抽出)
	産山村 (約 1,300人)	約 300部(抽出)
留置き	【広域的な道路利用者】道の駅にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し意見聴取	
	竹田市:道の駅「竹田」「すごう」、阿蘇市:道の駅「波野」「阿蘇」	4箇所

■住民アンケート(案)

■アンケート調査の趣旨やアンケートの対象者、今後の手続きの流れ等の説明。

中九州横断道路(竹田～阿蘇)における道路計画に関する第2回アンケートにご協力をお願いいたします

中九州横断道路は大分市を起点として豊後大野市・竹田市・阿蘇市等を経由し熊本市に至る延長約120kmの道路です。
 本調査は、中九州横断道路(竹田～阿蘇)の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするものです。
 今回は、今後ルート帯を検討するにあたり、重視すべき事項についてご意見をお聞きします。
 本アンケートにご協力をお願いします。

■アンケート対象者

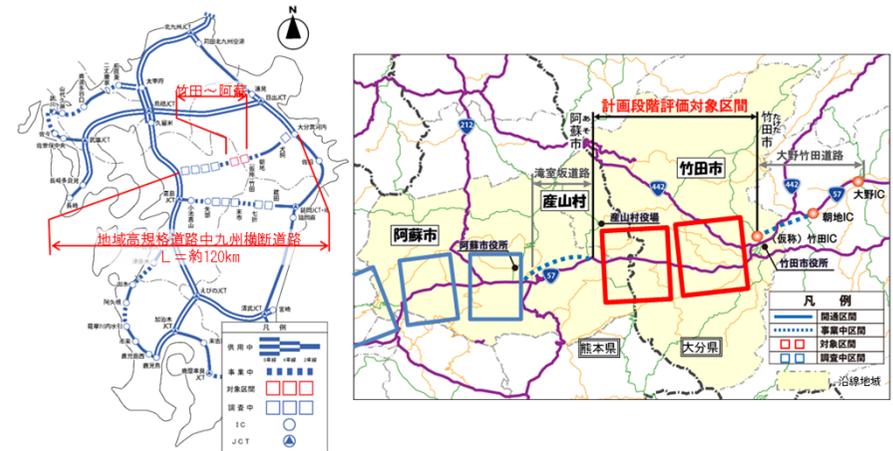
本アンケートは、竹田市、阿蘇市、産山村にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
 ○本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。
 ○幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いしたく、「**アンケート回答用 返信はがき**」を4枚同封させて頂いております。
 (対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用下さい。)
 ○なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、以下の問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

■回答の提出方法及び締切

○回答は、同封しています「返信はがき」にご記入頂き、**平成30年 月 日()**までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

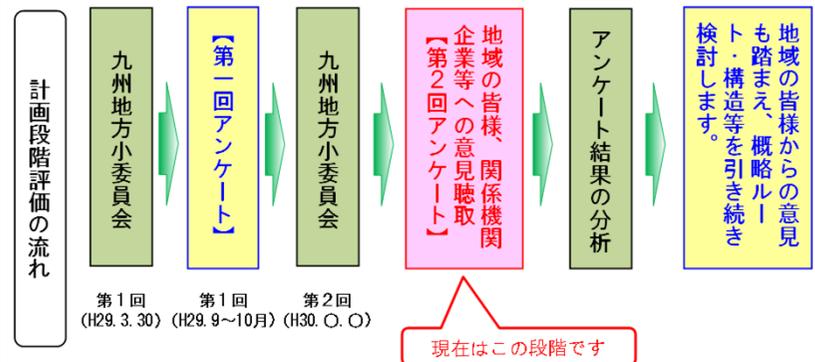
国土交通省 九州地方整備局
 大分河川国道事務所 調査第二課 TEL: 097-546-1484 (直通)
 熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL: 096-382-1242 (直通)
 問い合わせ先

中九州横断道路(竹田～阿蘇)対象区間位置図



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
 これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。
 なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

■住民アンケート(案)

■政策目標や配慮事項、アンケートの質問内容等の説明。

政策目標および対策案の検討

これまでの審議により、地域の課題を解決するための5つの目標(政策目標)の設定と、対策案の検討を進めてきました。

地域の課題を解決するための**5つの目標**を設定しました(政策目標)

<地域の課題>

～みなさまから頂いた地域の課題に関するご意見～

<5つの目標>

1 防災

・災害時に集落とのアクセス性を確保できる**信頼性の高いネットワークの構築**

2 物流・産業

・産業拠点間の速達性、走行性の向上による**産業活動の支援**

3 観光

・多様な観光資源間の回遊性向上による**観光振興の支援**

4 医療

・大分市・熊本の第3次**救急医療施設への速達性の向上**

5 暮らし

・大分・熊本市へのアクセス性向上、交通安全性の向上による**生活利便性の向上**

<対策案の方針>

☞災害時における**地域とのアクセス性を確保**するとともに、大分市・熊本市への速達性・走行性の向上を図り、**産業の活性化や観光の振興、医療の支援や生活利便性の向上**を目指します!!

・以下の4つに配慮して計画します。

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【家屋への影響】

【沿道からの利用のしやすさ】

【経済性】

<今回皆様にお聞きしたいこと>

☞中九州横断道路(竹田～阿蘇)について、**道路の通過位置や今ある道路との連絡位置(インターチェンジ)**を決めていく上で**重視すべき事項**をお聞かせください。

<対策案の検討>

☞今ある道路の活用や、新たな道路建設の両面から対策を検討します。

■住民アンケート(案)

■各ルート帯案の比較表の説明

評価項目		[案①] 別線整備案(北ルート)	[案②] 現道改良案	[案③] 別線整備案(南ルート)
項目	評価指標	全線別線で、生活拠点と産業拠点を最短で連絡するルート 延長 約20km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	全線において既存の現道を改良し活用するルート 延長 約21km 一般道路タイプ(設計速度:60km/h)	全線別線で、生活拠点と産業拠点を連絡するルート 延長 約22km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)
政策目標	災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	・別線整備により代替路が確保されるが、国道57号との並行区間は近接しており、代替路が確保されない可能性がある	・現道利用のため代替路が確保されない	・別線整備により代替路が確保される
	信頼性・走行性の確保による産業活性化の支援	産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの移動時間	・産業拠点間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案③より小さい	・産業拠点間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案③より小さい
		産業拠点から大分市・熊本市の卸売市場までの走行性	・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる	・現道の線形不良箇所を改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため効果は案①、案③より小さい
	高速ネットワーク確保による観光振興の支援	観光地間の移動時間 阿蘇市～竹田・大分方面、 竹田市～阿蘇・熊本方面	・観光地間の移動時間の短縮が見込まれる	・観光地間の移動時間の短縮が見込まれるが、効果は案①より小さい
	速達性向上による救急医療の支援	大分市・熊本市の第3次医療施設への60分圏域人口	・救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大する
	速達性・安全性の確保による生活利便性の向上	生活拠点から大分市・熊本市の市街地への60分圏域人口	・市街地へのアクセス時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい	・市街地へのアクセス時間の短縮が図られ、60分圏域人口が拡大するが、効果は案③より小さい
交通事故発生リスク		・沿道出入箇所や交差点がないため、事故の発生リスクが減少する	・沿道出入箇所や交差点が減少するものの、事故の発生リスクの減少は案①、案③より少ない	
道路整備による影響	生活環境	大気質・騒音等	・集落・市街地を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい	・集落・市街地に近接・通過するため、生活環境に影響を与える可能性が大きい
	自然環境	動物の生息地や植物の生育地等	・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい
	家屋への影響	移転が必要となる家屋等の数	・集落・市街地を概ね回避するため、影響は小さい	・集落・市街地に近接・通過するため、案①、案③より影響が大きい
	沿道利用	沿道施設からの利用	・沿道からの利用は、インターチェンジに限定される	・一般道路のため沿道からアクセス可能
	早期効果の発現	発現の時期	・インターチェンジ間の部分開通は可能	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込める
	コスト	整備に要する費用	約700～750億円	約550～600億円

■住民アンケート(案)

(表 面)



料金受取人払郵便

差出有効期限
平成〇年〇月〇日まで
(切手不要)



郵便はがき

8 7 0 8 7 9 0

大分県大分市西大道一丁目1番71号

国土交通省九州地方整備局
大分河川国道事務所

中九州横断道路(竹田～阿蘇)

計画段階評価 事務局 行

下記に「○」およびご記入をお願いいたします。

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきではない	重視する必要なし
①災害時に代替路として利用できること	5	4	3	2	1
②産業拠点間の移動が円滑で時間が短いこと	5	4	3	2	1
③産業拠点間の走行性がよいこと	5	4	3	2	1
④観光地間の移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑤救急病院に早く行けること	5	4	3	2	1
⑥大分市・熊本市へ早く行けること	5	4	3	2	1
⑦事故の危険性が少ないこと	5	4	3	2	1
⑧生活環境(騒音など)への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
⑨自然環境(動植物など)への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
⑩家屋移転が少ないこと	5	4	3	2	1
⑪沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
⑫早期に整備効果が望めること	5	4	3	2	1
⑬整備費用が安いこと	5	4	3	2	1

⇒裏面に続きます

(裏 面)

問1 続き
(自由回答)

問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項の重要性を5段階で評価してください。(単一回答)

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきではない	重視する必要なし
	5	4	3	2	1
①災害時に安全かつ円滑に集落にアクセスすること	●	●	●	●	●
②産業拠点に隣接し、産業拠点間の移動時間が短いこと	●	●	●	●	●
③観光地に隣接し、観光地間の移動時間が短いこと	●	●	●	●	●
④集落に隣接し、救急病院に早く行けること	●	●	●	●	●
⑤集落に隣接し、大分市・熊本市へ早く行けること	●	●	●	●	●

(自由回答)

◆あなたご自身の事について記入または該当する番号と箇所につけてください

住所 ①竹田市 ②阿蘇市 ③産山村 ④その他()

性別 ①男性 ②女性 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代
⑥60代 ⑦70代以上

※お答え頂いた意見及び個人情報、本アンケート以外の目的で使用することは一切いたしません。
※みなさまの貴重な意見のとりまとめに必要となりますので、記入漏れがないようにお願いします。